要請番号（JL02124A42）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
カンボジア	G130 柔道		個別	交替 2代目	2年	・2024/3・2025/1・2025/2

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

教育青年スポーツ省

2）配属機関名（日本語）

カンボジア柔道連盟

3）任地（ プノンペン都 カン チョロイ チャンバ ） JICA事務所の所在地（ プノンペン都 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で 約 0.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は1980年代に設立されたが、2017年に新たな運営委員のもとで再スタートすることとなった。現在は2名のコーチが毎日練習を行い、ナショナルチームの選手12名に加えて一般の練習生38名(うち22名は週に1日のみ)を指導する。ナショナルチームの練習は早朝と夕方の2回に分けて行われている(朝は5時から8時、夕方は16時から19時)。柔道隊員派遣の歴史は古く、初代は1960年代に遡る。内戦の影響で一時派遣は中断していたが、その後再開され、2021年11月までJICA海外協力隊員が活動していた。配属先の年間予算は、約$15,000(教育青年スポーツ省より)。

【要請概要】

1）要請理由・背景

配属先には国内大会で選考された選手が所属しているが、他国で行われる大会にはほとんど出場できておらず、レベルは周辺各国と比べて格段に低かった。コーチにおいても講道館の段位を取得している者はほとんどおらず、最新の知識や技術を有していなかった。その後、2023年5月に東南アジア競技大会(SEAGames)がカンボジアで開催されたことで、個人戦で金メダル1つ、銀メダル2つ、銅メダル3つを獲得、団体戦では5位と、一定の成果を残すことができた。教育青年スポーツ省は、今後も、世界レベルの選手を育成する必要があると判断し、引き続きJICA海外協力隊の支援を要請することとなった。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

コーチと協力して、以下の活動を行う。
1.ナショナルチームに柔道の効果的な指導を実践する。
2.さまざまなトレーニング方法を紹介し、コーチの指導力向上を支援したり、トレーニングカリキュラムの作成を支援する。
3.柔道の普及へ取り組む。
4.可能であれば、柔道大会や審判に関する初歩的な講習会実施の助言を行ったり、マニュアルを作成する。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

柔道場

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
・コーチ2名
活動対象者:
・練習生 12名(18歳以上のナショナルチーム選手)
・練習生 16名(12-17歳) 、その他22名

5）活動使用言語

クメール語

6）生活使用言語

クメール語

7）選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（柔道三段）

[学歴]：（　　）　備考：

[性別]：（男性）　備考：配属先の希望

[経験]：（競技経験）5年以上　備考：経験に基づく活動が必要なため

[参考情報]：

・講道館三段以上の有段者

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候）　気温：（28～33℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.